

DC12V車専用、後方確認用
車載用カラーカメラ (カメラコントローラー付)

品番 **TW-CC160B**

取扱説明書

このたびはパナソニック車載用カラーカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書と取扱説明文および保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

お客様へのお願い

- ・本機は広角レンズを使用していますので、近くは広く、遠いところは狭く映ります。車両をバックする際は、必ず目視の確認をしてください。
- ・カメラ取り付けねじは時々点検し、ゆるみがある場合は、増し締めをしてください。
- ・カメラスタンドをガラス面に貼り付けた場合、貼り付けた部分がはがれていないか車内から時々点検してください。
- ・カメラケーブルに傷をつけないでください。
傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障の原因となります。
- ・カメラは絶対に分解しないでください。(防水が不完全となり内部に水が入ります。)
- ・自動洗車機による洗車はできるだけ避けてください。(カメラが脱落したりする恐れがあります。)
- ・カメラを水につけたり、洗車のとき高い圧力の水をかけないでください。
(カメラ内に水が入る恐れがあります。)
- ・カメラの映像を見ながらFMラジオ放送を受信しますとFMラジオに雑音が入ることがあります。このときはテレビをカメラ映像以外の画面に切り換えてください。
- ・2画面テレビでテレビ放送とカメラ映像を同時にみるとテレビ放送の電波が弱い地域ではテレビ画面に縞模様が出たり音声にノイズが出たりすることがあります。このときはテレビ画面またはカメラ画面のみでご使用ください。
- ・カメラケーブルを車内に引き込む場合、引き込む個所の防水ゴムはゴムパッキンに平行に当たっているか、時々点検してください。
- ・視界を確保するためカメラの前面に泥やホコリがついたときは柔らかい布で時々ふいてください。磨き砂が配合されたクレンザー等でふかないでください。(傷がついたり、白く濁ったりします。)
- ・車両が停車した状態で、長時間カメラのレンズに太陽光や、ヘッドライトの光などが入ると残像(焼き付き現象)が発生します。
同じ場所で長時間駐車する場合などはカメラレンズに光が入らないようにレンズ部を覆ってください。


TQBA0327


安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。



■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

故障や異常のまま使用しないでください

 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
禁止

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしないでください

 
分解禁止

故障したり発火や事故の原因となります。

松下電器産業株式会社 テレビシステムプロダクツ事業部

〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号
(サービス担当) 〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目4番1号
☎ (0466) 34-2757

警告

テレビ画面を見ながらバックしないでください



禁止

カメラに死角(映らない部分)があり、事故の原因となります。
バンパーの角は見えませんので両サイドをぶつけないよう注意してください。

DC12Vマイナスアース車で使用してください



禁止



DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。

カメラは正しい位置に取り付けてください



カメラは、車幅、車長よりはみ出さない位置に取り付けてください。

- 歩行者などに接触して事故の原因となります。

正しく配線を行ってください



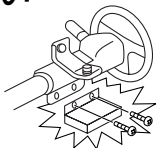
誤った配線をするとう発火や事故の原因となります。

- 特にリード線のねじれやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し固定してください。

取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください



禁止



ステアリングやブレーキ等保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

注意

取り付けは専門技術者に依頼してください



取り付けや配線は、専門技術と経験が必要です。

- 安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

カメラスタンドをふっ素樹脂処理されたボディやガラスにはり付けしないでください



禁止

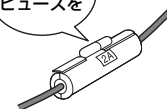
ふっ素樹脂面や再塗装された塗装面にはり付けますと走行中にカメラがはがれて落下します。またスタンドをはがすとボディを傷めることがあります。

決められたヒューズを使用してください



禁止

規定容量のヒューズを

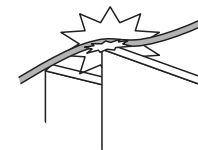


必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

コードをかみ込ませたり、引っぱったり傷つけないでください



禁止



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

電源コードの接続のしかた

白		ON/OFF入力リード (L/カメラON、5V/カメラOFF)	右図参照
緑		データ1出力リード	
茶		バックランプ信号入力リード (DC12V)	
茶			
橙		カメラ感度切り換え信号リード (DC12V)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 注意 2A以上は使用しない </div>			
赤		アクセサリ電源 (ACC電源) リード (DC12V)	
赤			
黒		アースリード	

エンジンを抜いたときに電源が切れる個所へ接続してください。
常時電源が入っている個所には接続しない！
ねじやシートレールの可動部にかみ込まないように整形してください。

アースリード
車体の金属部分へ接続してください。

バックランプ信号の接続のしかた

シフトレバーをバック (R) に入れたとき点灯するバックランプ (後退灯、透明レンズが付いたランプ) の ⊕ 線にバックランプ信号入力リード (緑) を接続してください。

付属 圧着式コネクタ

バックランプ

バッテリー

切断する

バックランプ信号入力リード (茶)

✕部分は、圧着式コネクタを使用して車両側電源コードと接続する場合、端子を切り離すことを示します。

カメラ
カメラコントローラ

カメラ
カメラ

お願い

- 本機はDC12V車専用です。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- 他社製カーテレビの接続は、販売店にお問い合わせください。
カメラからの映像を切り換えるには、お使いのカーテレビの取扱説明書をお読みください。

カーテレビとの接続のしかた

TR-T70W2/T90W2/7LWV2/DK7LWV2/8LWV2/8LWV4 との接続

チューナーユニット

付属 映像用ケーブル
長さ：1.5m

カメラ映像入力

カメラコントローラ

設定

メニューボタンを1秒以上押し、「カメラ設定」および「スケール設定」を行ってください。詳しくはお使いのカーテレビの取扱説明書をご参照ください。

手動の場合

MODE または入力切替を押すごとに切り換わります。

自動の場合

シフトレバーをバック (R) に入れますとディスプレイユニットの電源の入、切に関係なく自動的にカメラの映像が出ます。

TR-DK5LC1/7LC4/7LW1/7LW2/7LW3/7LW4/7LW6/65LW1/8LW1 との接続

チューナーユニット

付属 映像用ケーブル
長さ：1.5m

ビデオ入力2

カメラコントローラ

設定

ビデオ2 設定画面を選び「カメラ」を設定してください。詳しくはお使いのカーテレビの取扱説明書をご参照ください。

手動の場合

MODE またはテレビ/ビデオを押すごとに切り換わります。

自動の場合

シフトレバーをバック (R) に入れますとディスプレイユニットの電源の入、切に関係なく自動的にカメラの映像が出ます。

TR-7LC5/DK7LC5/DK7LC6/DK7LC6A との接続

チューナーユニット

付属 映像用ケーブル
長さ：1.5m

カメラ入力 (映像)

カメラコントローラ

設定

お使いのカーテレビの取扱説明書をご参照ください。

手動の場合

MODE を押すごとに切り換わります。

自動の場合

シフトレバーをバック (R) に入れますとディスプレイユニットの電源の入、切に関係なく自動的にカメラの映像が出ます。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

販売会社の「お客様ご相談窓口」へ！



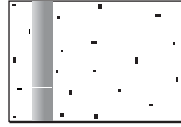
■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 修理を依頼される時

この表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源コードを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

<p>シフトレバーをバック（R）に入れた瞬間白っぽく光ってから出画し、そのあと次第に安定する。</p> <p>本機特有の現象で故障ではありません。</p>	<p>画面に白線が出る。</p>  <p>太陽光、ヘッドライトなどの強い光が当たると白線が出たりすることがありますが、故障ではありません。</p>	<p>映像が不鮮明</p>  <p>カメラの前面に泥やほこりがついていませんか？</p>	<p>画面にノイズが出る。左端に縦線が出る。</p>  <p>夜間くらい場所では画面にノイズが出たり、左端に縦線が出たりすることがありますが故障ではありません。</p>
---	--	---	--

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、車載用カラーカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。